

スピード生かして東北の頂点に輝く

第53回東北高等学校対抗自転車競技選手権大会
トラック競技4キロメートル速度競争
優勝

齋藤 光星 さん

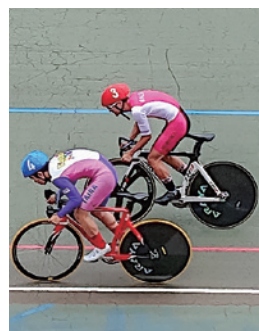
さいとう・こうせい 18歳 〓松久保〓



平成15年生まれ。盛岡農高3年、部活ではキャプテンを務める。趣味はカスタムカーやスポーツカーなどの自動車鑑賞で、特にトヨタの86のシャコタンがお気に入り。休日は勉学に励み、空いた時間を自転車練習に充てる。負けず嫌いで物怖じしない性格。

6月18日に青森県八戸市で開かれた第53回東北高等学校対抗自転車競技選手権大会4キロメートル速度競争で優勝した齋藤光星さん。「決勝でもリラックスして走ることができた。先頭を走っていたラスト1周、後続を完全に振り切ることができてとても気持ち良かった」と笑顔を見せる。

自転車始めたのは、小学1年の時に八幡平市トライアスロンスポーツ少年団に入団したのがきっかけ。水泳・自転車ロードレース・長距離走と練習をする中で、団の友達よりも速く走れる自転車車が自然と好きになった。5つ上の姉が盛岡農高の自転車部に入り、応援に行った大会で見た姉の頑張る姿と男子部員の力強い走りに心を打たれ、同校への進学を決意。厳しい練習に揉まれる中で、加速力なら先輩にも勝てるという自己分析し、スプリント力を磨いてスピードを武器にレースをコントロールできるように鍛えた。めきめきとトラック競技で頭角を



東北大会で勝負の仕掛けところを探る齋藤さん(上)

現し、ポイントレースで1年時にジュニアオリンピック大会の県代表に選抜、2年時には選手権大会で優勝を果たした。常に順風満帆だったわけではなく、2年の7月に原因不明の体調不良で2週間寝たきりだったことも。「家族や友だちの支えのおかげで焦らずに復調することができた」と振り返る。8月に福井県福井市で開かれたインターハイでは、4キロメートル速度競争は準決勝で敗退したが、約150人が参加したロード競技で27位に。「想像以上の結果でうれしかった」と悔いはない。

自分がカスタムした車で賞を取るのが小さい頃からの夢。「自転車は続けるけれど、次は四輪の賞を狙いたい」と目を輝かせる。

【広告】

いぼ、癌、免疫系等
コミュニティバス「にね眼科」バス停すぐ
薬のプロフェッショナルがあなたのご相談を承ります
漢方のあさひ薬局 西根中学校前店
公認スポーツファーマシスト 国際中医専門相談員 認定実務実習指導薬剤師
薬剤師 齋藤 貴将
八幡平市大更24-1-118(西根中学校前) TEL.0195-70-2311

■編集後記

▽齋藤光星君の取材で初めて盛岡農高高校に行きました。部室には、数十台ものフレームやワットバイクという負荷調整機能のついたトレーニング機器、バーベルなどがズラリ。物珍しさに見入ってしまいました。そんな中に混じって無造作に置いてある農作業用長靴。農業高校感、出てました。
▽西根一中の生徒が、広報公聴係に職場体験に来ました。私もまだまだ勉強中ですが、撮影のポイントなどを伝え、消防署に取材に行きました。とてもみこみが早く、取材や撮影もスムーズに進み、とても楽しかったです。何年か後に同僚になっているかもしれないですね。

⑨